芦安中学校　自己評価書（後期）

令和6年1月29日（月）
南アルプス市立芦安中学校

1　自己評価（後期）の経過

（1）後期教職員対象アンケート及び生徒対象・保護者対象アンケートの実施（12月）
（2）アンケート結果の考察をもとに職員会議にて改善方策の審議（1月）
※小中一貫校の取組の観点から，評価項目は基本的に芦安小学校との共通で実施。

2　学校評価の分析と課題点

全体的に，肯定的な評価（A・B）が高くなった。生徒の実態に応じた行事の取組，学習指導・支援，ＩＣＴ機器の活用，組織的な生徒指導・保護者対応の体制等により，前期評価よりも改善された項目が多かった。今後も，これまでの経験に頼ることなく，前例主義を排して行事等の見直しを進め，生徒の実態に応じた学習指導・生活指導・進路指導等を推進していく。

学校評価から明らかになった課題点（今後の努力点）としては，次の点が挙げられる。

①授業（道徳教育も含む）の改善（個に応じた授業・全校道徳の充実）

〇学ぶ意欲（「主体的に取り組む態度→ねばり強さ＋調整力」）の育成
↓
〇家庭学習の充実（読書も含めた）へ

②情報モラル教育の推進（GIGA ワークブックやまなしの活用）

〇家庭でのルールづくり・基本的な生活習慣の定着

③保護者・地域との連携（まずは，行事参加・授業の参加・参観等の呼びかけ）

〇主体的な PTA 活動・学校運営協議会の構築を目指して

３ 芦安郷育の充実に向けて（来年度の小中一貫校としての重点目標）

①登山学習

児童生徒の実態に合った学習計画・活動の推進
多様な児童生徒に対応した活動計画の作成や登山コース等の設定
登山用品のレンタル等（保護者負担の軽減）

②太鼓活動

今年度と同様に，授業の中で取組を進める。参加対象学年は小4～中3の児童生徒とする。
〇練習回数→年間20回＋5回（予備：白峰祭や学校説明会当日，追加練習日）
〇練習時間→14：45～15：45（60分）
〇練習会場→芦安小学校体育館（太鼓は小学校で保管・地域との調整必要）
〇太鼓講師→宗学史　先生（練習回数は20回）

【改善点】

授業の中で取り組む以上，年間計画への位置づけを明確にする。他の活動の見直し・修正を進める。また，事前指導や事後指導（評価）も確実に実施する。さらに，教員も練習へ積極的に参加する。

③英語教育

常勤のＡＴＬを活用した英語教育＆イマージョン教育の推進

④生活指導・進路指導・キャリア教育

中学卒業後の姿を明確にする。（キャリアパスポートを活用した取組）
小・中９年間を見通した生活指導・進路指導（乗り入れ授業の活用等）

上記の活動を進める前提として，これまで行われてきた行事や活動等の見直しや授業改善等を進めていく。

行事の見直し・精選は，教職員の負担を軽減し，児童生徒と向き合う時間を確保することが目的である。働き方改革を進めることにより，児童生徒に「質の高い教育を提供できる」ことを証明していくことが学校として責務だと感じている。